

学びの多様化学校の概要と設置状況について

1 学びの多様化学校とは・・・

不登校児童生徒の実態に配慮した**特別の教育課程**を編成して教育を実施する学校

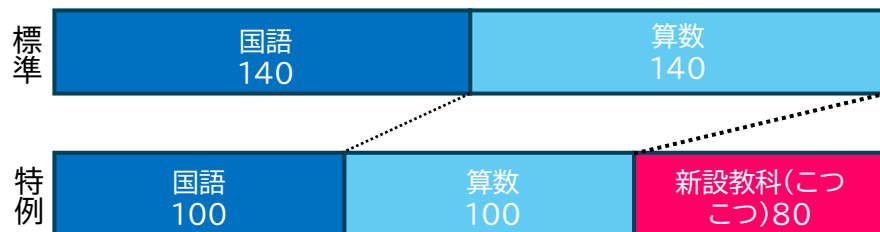
特別な教育課程を編成する

原則としては、教育内容や総授業時数の削減は好ましくない。

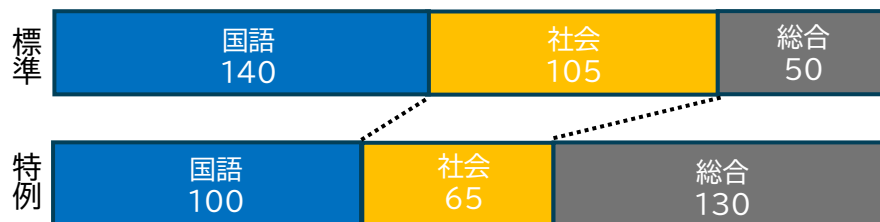
①小学校における教科の新設

学習指導要領にない、特色ある教科を新設する

※中学校・高等学校は、教科の新設が元々学習指導要領で認められている。



②授業時数の組み替え



③指導内容の異学年への移行

第○学年のA教科の学習内容の一部を△学年に移行する。

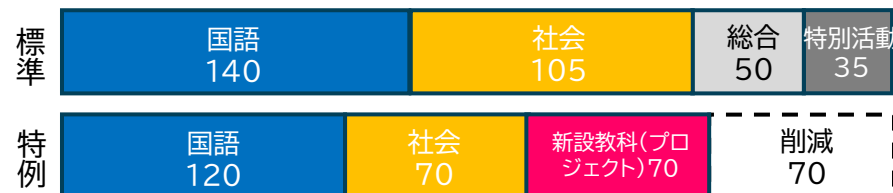
教育内容や総授業時数の削減しなければ、不登校児童生徒の教育環境を保障することが困難である場合は、教育内容や総授業時数の削減ができる。

④総授業時数の削減

- ・基礎的・基本的な内容を扱う時間は個人学習とし、一人一人の学習到達度に合わせた教材やタブレット端末等を活用しながら効率的な学習を進めることで時数の削減を行う。
- ・昼休みや放課後等に個人学習スペースを設け、授業時間内に到達できなかった内容や、さらに発展的な内容の学習を望む生徒に対応する。



生徒が主体となり、探究的な学習を行う新設教科を行い、教科横断的な学びを行うことで、各教科の内容を補っていく。



⑤1単位時間当たりの授業時間の短縮

授業時間を50分から45分にする。

2 学びの多様化学校の設置形態

本校型(32校)

特徴

一つの独立した学校として設置・運営されるため、教育活動に必要な普通教室、特別教室、運動施設等が必要となる。

メリット

独自の教育理念に基づいた学校経営

一つの学校として教職員が配置されるので、手厚い支援体制ができる。

デメリット

学校設置基準に基づく施設の確保が必要

代表的な学校

- ・白石市立白石南小学校・白石市立白石南中学校
- ・八王子市立高尾山学園小学部・中学部
- ・さいたま市立いろどり学園小学部・中学部
- ・川口市立芝園学園中学校 等

分校型(12校)

特徴

母体となる本校から分離して設置される。本校の校長が責任者を兼ねる。施設の基準については学校型と同じであるが、特例が適用される。

メリット

本校の管理下ではあるが、ある程度独立した学校として運営できる。

分校でも一つの学校として教職員が配置されるので、手厚い支援体制ができる。

運動場や体育館は、本校や地域施設で代用可

デメリット

特例は適用されるものの、学校設置基準に基づく施設の確保が必要

代表的な学校

- ・鎌倉市立御成中学校
- 【分校名】鎌倉市立由比ガ浜中学校 等

分教室型(29校)

特徴

母体とする本校をもち、一部の学級のみを学びの多様化学校として指定を受けるため、本校とは異なる場所に設置する。児童生徒への配慮から、同じ校種の敷地内に設置することはできない。

メリット

施設の設置規定がないので、スピーディーかつ低コストで設置

学校以外の公的な施設（の一部）を利用することも可

デメリット

学校の一学級なので、本校の教職員をやりくりして配置しなければならない。

代表的な学校

- ・世田谷区立世田谷中学校
【分教室名】ねいろ
- ・調布市立第七中学校
【分教室名】はしうち教室 等

コース指定型(11校)

主に高等学校において一部のコースを学びの多様化学校として指定する

3 全国の学びの多様化学校一覧(84校)

令和8年4月時点

本校型(32校)

○政令指定都市 ★中核市

	都道府県	設置主体	学校名	指定年
1	北海道	学校法人国際学園	星槎もみじ中学校	H26
2	山形県	上山市	上山市立西郷小学校・上山市立西郷中学校	R7
3	宮城県	白石市	白石市立白石南小学校・白石市立白石南中学校	R5
4	宮城県	学校法人ろりぽっぷ学園	ろりぽっぷ学園小学校	R5
5	埼玉県	さいたま市○	さいたま市立いろどり学園小学部・中学部	R8
6	埼玉県	川口市★	川口市立芝園学園中学校	R8
7	東京都	八王子市★	八王子市立高尾山学園小学部・中学部	H16
8	東京都	学校法人東京シューレ学園	東京シューレ葛飾中学校	H19
9	東京都	学校法人東京シューレ学園	東京シューレ江戸川小学校	R2
10	東京都	学校法人三幸学園	東京みらい中学校	R6
11	東京都	世田谷区	世田谷区立北沢学園中学校	R8
12	神奈川県	学校法人国際学園	星槎中学校	H17
13	神奈川県	学校法人国際学園	星槎高等学校	R2
14	神奈川県	学校法人森学園	横浜きりん学園	R7
15	富山県	富山市★	富山市立古志はるかぜ学園（小学部・中学部）	R8
16	静岡県	学校法人第三静岡学園	静岡学園なごみ中学校	R8
17	愛知県	学校法人国際学園	星槎名古屋中学校	H24
18	愛知県	愛知県	愛知県立日進高等学校附属中学校	R8
19	岐阜県	学校法人西濃学園	西濃学園中学校	H29
20	岐阜県	岐阜市★	岐阜市立草潤中学校	R3

○政令指定都市 ★中核市

	都道府県	設置主体	学校名	指定年
21	三重県	三重県	三重県立みえ四葉ヶ咲中学校	R7
22	京都府	京都市○	京都市立洛風中学校	H16
23	京都府	京都市○	京都市立洛友中学校【昼間部】	H19
24	大阪府	大阪市○	大阪市立心和中学校	R6
25	兵庫県	学校法人生野学園	生野学園高等学校	R6
26	兵庫県	学校法人生野学園	生野学園中学校	R7
27	兵庫県	尼崎市★	尼崎市立尼崎琴葉中学校	R8
28	福岡県	福岡市○	福岡市立百道松原中学校	R7
29	大分県	玖珠町	玖珠町立くす若草小中学校	R6
30	宮崎県	宮崎市★	宮崎市立ひなた中学校【昼間部】	R7
31	宮崎県	都城市	都城市立あやめ野中学校	R8
32	鹿児島県	志布志市	志布志市立悠志学園	R8

分校型(12校)

○政令指定都市 ★中核市

	都道府県	設置主体	学校名	指定年
1	北海道	釧路市	釧路市立くしろ創明学園	R8
2	東京都	福生市	福生市立牛浜もくせい中学校	R2
3	神奈川県	鎌倉市	鎌倉市立御成中学校 【分校名】 鎌倉市立由比ガ浜中学校	R7
4	新潟県	小千谷市	小千谷市立小千谷中学校 【分校名】 上ノ山分校	R8
5	新潟県	上越市	上越市立諏訪中学校	R8
6	大阪府	大阪府	大阪府教育センター附属高等学校 【分校名】 窓明分校	R8
7	兵庫県	神戸市○	神戸市立湊翔楠中学校 【分校名】 通称：みらいポート	R7
8	山口県	下関市★	下関市立文洋中学校 【分校名】 関西分校	R8
9	福岡県	大牟田市	大牟田市立宅峰中学校 【分校名】 ほしぞら分校	R6
10	福岡県	宇美町	宇美町立原田小学校 【分校名】 ハピネス分校	R7
11	福岡県	宇美町	宇美町立美南中学校 【分校名】 ハピネス分校	R7
12	福岡県	大野城市	大野城市立みずほ中学校	R8

分教室型(29校)

○政令指定都市 ★中核市

	都道府県	設置主体	学校名	指定年
1	宮城県	富谷市	富谷市立富谷中学校 【分教室名】西成田教室	R4
2	福島県	棚倉町	棚倉町立棚倉中学校	R7
3	栃木県	那須塩原市	那須塩原市立三島中学校 【分教室名】プリズム	R8
4	茨城県	学校法人リリー文化学園	リリーベール小学校 【分教室名】リリーガーデン	R7
5	千葉県	習志野市	習志野市立袖ヶ浦西小学校	R7
6	千葉県	浦安市	浦安市立浦安中学校 【分教室名】UMI	R7
7	東京都	調布市	調布市立第七中学校 【分教室名】はしうち教室	H30
8	東京都	大田区	大田区立御園中学校 【分教室名】みらい学園	R3
9	東京都	世田谷区	世田谷区立世田谷中学校 【分教室名】ねいろ	R4
10	東京都	大田区	大田区立大森第四小学校 【分教室名】学びの多様化学校分教室みらい学園初等部	R6
11	東京都	港区	港区立小中一貫教育校御成門学園御成門中学校	R7
12	東京都	町田市	町田市立山崎中学校 【分教室名】学びの多様化学校分教室「ゆめのき」	R7
13	東京都	府中市	府中市立浅間中学校 【分教室名】学びの多様化学校「かがやき」	R7
14	神奈川県	大和市	大和市立引地台中学校	R4
15	静岡県	静岡市○	静岡市立末広中学校分教室	R8

	都道府県	設置主体	学校名	指定年
16	岐阜県	北方町	北方町立北学園 【分教室名】特例教室「オンリー1」	R6
17	岐阜県	高山市	高山市立宮中学校 【分教室名】学びの多様化教室「にじ色」	R6
18	滋賀県	長浜市	長浜市立浅井中学校分教室 【分教室名】長浜市学びの多様化学校	R8
19	奈良県	大和郡山市	大和郡山市立郡山北小学校 【分教室名】ASU	R5
20	奈良県	大和郡山市	大和郡山市立郡山中学校 【分教室名】ASU	R5
21	岡山県	美作市	美作市立作東中学校 【分教室名】学びの多様化学校樸学園	R7
22	香川県	三豊市	三豊市立高瀬中学校	R4
23	高知県	高知市★	高知市立潮江中学校 【分教室名】「SOLA」	R8
24	高知県	いの町	いの町立伊野小学校 【分教室名】「きぼう」	R8
25	高知県	いの町	いの町立伊野中学校 【分教室名】「きぼう」	R8
26	長崎県	長崎市★	長崎市立桜馬場中学校分教室	R8
27	宮崎県	延岡市	延岡市立南浦中学校 【分教室名】学びの多様化学校分教室「熊野江教室」	R6
28	鹿児島県	さつま町	さつま町立宮之城中学校	R8
29	沖縄県	学校法人雙星舎	東表中学校 【分教室名】西原教室、与那原教室、南風原教室、津嘉山教室、八重瀬教室、坂田教室	R7

コース指定型(11校)

○政令指定都市 ★中核市

	都道府県	設置主体	学校名	指定年
1	北海道	学校法人国際学園	星槎国際高等学校 【コース名】通信制課程リベラルアーツコース	R7
2	青森県	学校法人東奥学園	東奥学園高等学校 普通科 【コース名】レバレッジコース	R8
3	秋田県	学校法人杉澤学園	秋田修英高等学校 【コース名】全日制課程ステップUPコース	R7
4	東京都	学校法人NHK学園	NHK学園高等学校 【コース名】ライフデザインコース	H20
5	大阪府	学校法人精華学園	精華高等学校 【コース名】フリーアカデミーコース	R6
6	岡山県	学校法人美作学園	岡山県美作高等学校 【コース名】普通科 Bloomコース	R6
7	島根県	学校法人江の川学園	石見智翠館高等学校 【コース名】アスライズコース	R8
8	福岡県	学校法人福岡海星女子学院	福岡海星女子学院高等学校 【コース名】ブライトコース	R7
9	福岡県	福岡県	福岡県立小郡高等学校（普通科） 【コース名】みらい創造コース	R7
10	福岡県	学校法人専修学園	慶成高等学校（普通科） 【コース名】至誠コース	R7
11	鹿児島県	学校法人日章学園	鹿児島城西高等学校 【コース名】ドリームコース	H18

4 視察報告

(1)川口市立芝園学園中学校(本校型)



- 各学年15名程度を想定
- 夜間中学の校舎を使用（昼は多様化学校、夜は夜間中学）
- 学びの多様化学校が本校、夜間中学が分校
- 学校生活や友達の関係づくりをもう一度スタートしたい、勉強したいと考えている児童生徒を支援することが設置の目的。
- 対面型の教育活動を基本。
- 遅めの登校時刻（9：25）、1時間の授業時間を45分
- 給食の提供はない。
- 委員会活動や部活は行わない。
- 行事疲れにならないように行事を精選（卒業証書授与式、職業体験のみ。他は生徒とともに作っていく）
- 年間授業時数は840時間（週24時間×35週）
- 所見による通知表、評価・評定は希望により提示（学年末は全家庭に提示）
- テストの受検は生徒自身が選択する。
- 生活する場所と学習する場所を分ける。
- 当該校だけの専門職員（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）の配置はしない。（他校と同様の配置）
- 転入学の対象は以下のとおり
 - ・川口市内在住
 - ・病気、経済的な理由以外で概ね年間30日以上欠席、または保健室、相談室、校内教育支援センター、教育支援センターに通っており、現在もその状態が続いていること
 - ・入学前から在籍校を通じ、教育支援センターへ継続的に相談するなど、情報が共有されていること（教育支援センターへの入室が必要）

(2) 鎌倉市立由比ガ浜中学校(分校型:鎌倉市立御成中学校の分校)



○正規の教職員（養護教諭含む）のほか、教育相談員、スクールカウンセラー等を配置

☞校長 1 名・分校長 1 名・教諭 9 名・養護教諭 1 名・事務職員 1 名・スクールカウンセラー 2 名（県費 1 名・市費 1 名）
・スクールサポートスタッフ・学校技能員・まなびばサポーター

○一般の中学校より授業時数を減らし、自分のペースで学ぶことができる柔軟な教育課程を編成 ☞ 770 時間

○新教科「CTime」を設定

☞「音楽」「美術」「技術・家庭」から生徒が学びたい教科を選択。

○新教科「U L T L A」を設定

☞総合的な学習の時間の要素を取り入れ、鎌倉の豊富な教育資源（人・自然・文化）を最大限に活用し、体験的に学ぶ。

○定員は 30 名（各学年 10 名）程度

☞以下の①～③のすべてに該当する児童生徒のうち、鎌倉市教育委員会が認めた児童生徒

- ① 鎌倉市内に在住している児童生徒
- ② 不登校状態または不登校傾向にある児童生徒
- ③ 本校で学びたいという思いのある児童生徒

○スクールビジョン「自分らしく学び、自分らしく成長できる学校」

☞子どもたちが自分らしさを大切にしながら、安心して学ぶことができるように、ありのままを受け入れ寄り添いながら、社会的自立と自己実現に向けて「自分で考えて行動し、他の人と協力しながら、責任感を持って生きること」ができる力を育み、「自分のなりたい姿」へ成長していくことを支援していく。

○目指す学びの場のイメージ

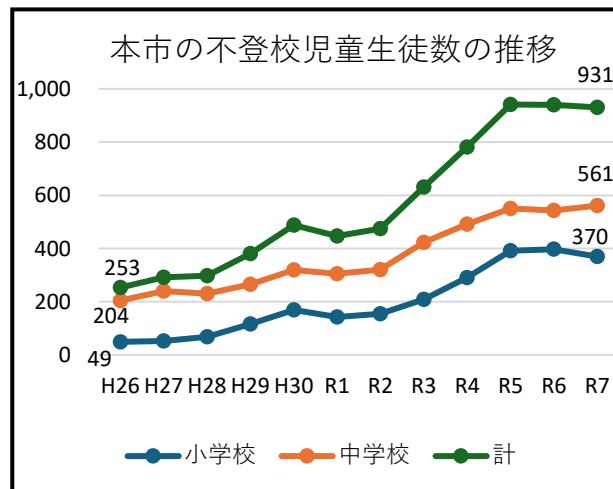
- ☞「大人が提供する学びの場」から「自分たちでつくりあげていく学びの場」へ
- ☞「一斉に学ぶ」から「自分のペースで学ぶ」へ
- ☞「教科ごとに学ぶ」から「教科の枠を超えて体験的・探究的に学ぶ」へ
- ☞「先生に教えてもらう」から「自分たちで学びとっていく」へ
- ☞「知識の習得」から「学び方を学ぶ」へ
- ☞「同一学年・クラス」から「異学年・少人数・個別など多様なスタイルで学ぶ」へ
- ☞「学校内だけで学ぶ」から「海や森、まちなど鎌倉全体で、様々な人々と関わりながら学ぶ」へ
- ☞「子どもが学校に合わせる」から「学校が子どもに合わせる」へ



5 本市の不登校児童生徒数の推移

No	学校名	R5	R6	R7
1	川越第一小	10	19	11
2	川越小	14	11	14
3	中央小	4	5	4
4	仙波小	17	20	25
5	武蔵野小	22	14	18
6	新宿小	6	10	19
7	大塚小	8	14	10
8	泉小	25	23	8
9	月越小	6	2	1
10	今成小	8	4	4
11	芳野小	9	4	9
12	古谷小	11	7	7
13	南古谷小	19	17	16
14	牛子小	9	5	7
15	高階小	15	21	24
16	高階南小	11	23	16
17	高階北小	24	17	10
18	高階西小	9	12	10
19	寺尾小	8	10	8
20	福原小	11	12	7
21	大東東小	22	25	13
22	大東西小	8	9	7
23	霞ヶ関小	14	10	12
24	霞南小	11	8	9
25	霞北小	15	14	14
26	霞東小	7	10	7
27	霞西小	12	16	12
28	川越西小	14	15	16
29	名細小	12	12	10
30	上戸小	10	13	12
31	広谷小	3	3	13
32	山田小	15	12	17
	合計	389	397	370

No	学校名	R5	R6	R7
1	川越第一中	34	30	31
2	初雁中	34	43	48
3	富士見中	13	21	30
4	野田中	24	18	16
5	城南中	52	49	35
6	芳野中	9	10	5
7	東中	20	26	41
8	南古谷中	17	29	27
9	高階中	41	42	48
10	高階西中	10	26	26
11	寺尾中	42	37	31
12	砂中	35	20	10
13	福原中	26	26	24
14	大東中	38	28	29
15	大東西中	11	17	14
16	霞ヶ関中	25	22	28
17	霞東中	17	12	17
18	霞西中	18	13	28
19	川越西中	24	12	8
20	名細中	14	23	28
21	鯨井中	17	14	16
22	山田中	25	25	21
	合計	546	543	561



6 教育委員会としての今後の「不登校支援児童生徒の学びの保障」の方向性

各学校での不登校児童生徒の学びの充実

今は

コッ! ➡

まだ8人
のみ

①小学校全校に校内学習室支援員を1名ずつ配置

- ・人数が満たないときは、不登校児童生徒数・校内学習室利用者数の多い学校に配置する。
- ・小学校の教員は、担当する授業がない時間が少ないため、校内学習室の支援に入りづらい現状がある。また、不登校の早期支援・未然防止の観点からも、まずは小学校から支援員を配置する。

【年間予算】約29,750千円



校内学習室支援員
・週3日4時間勤務
・教員免許保有
・年額931千円/人

②中学校全校に校内学習室支援員を1名ずつ配置

- ・中学校の不登校生徒数は小学校に比べてかなり多く、不登校の要因や悩みも複雑・多様になってくる。
- ・小学校全校に支援員を配置できたら、次いで中学校に支援員を配置する。
- ・中学校では、さわやか相談員と校内学習室支援員が連携した支援を行っていく。

【年間予算】約20,453千円

③校内学習室の環境整備

【年間予算】約5,400千円（2年間）

- ・安心して学習・生活できる環境づくりのための備品購入（パーテーション、ジョイントマット等）
- ・オンライン学習教材の導入

④バーチャル登校の実施

【年間予算】1校あたり約100千円

- ・県のメタバース事業の継続
- ・中学校で不登校支援システムを用いたバーチャル登校

校内学習室や教育支援室（つばさ教室）にも通うことのできない児童生徒のために「学びの多様な学校」の調査研究・設置検討